



ベヘモトプス25周年

ベヘモトプスの展示充実

発見25周年を記念して、ベヘモトプス（足寄第2の束柱類）の展示を充実しました。いままでは、全身骨格が一つだけでしたが、このたび、化石が地層のなかに埋まっていた様子の複製（産状模型）を骨格に並べて配置しました。

また、実物標本も数点ガラスケースで展示しました。復元骨格の下顎の一部、一番目の頸椎、牙（犬歯）の断面が見える下顎の一部の3点です。この3つは個体が違う、・・・そうです、茂螺湾からは身体の一部ではありますが、3個体分の化石骨が見つかっているのです。地層はほぼ同じですから、2500万年前の足寄の海にはベヘモトプスの群が生息していた、そんな姿が描けそうです。



ベヘモトプスの全身骨格を復元する過程で製作した頭骨の復元の原型、母型（モールド）、できあがった模型（キャスト）もみていただけます。

入館者動向

連休中の人出はますます

4月から5月にかけての『ゴールデンウィーク』には、大勢の来館者がありますが、今年は2035人の方が来館しました(4月29日から5月9日まで)。昨年と同じ期間に比べると、114人(5.3%)の減少でした。

新聞報道によると、昨年比で増えたところ、減ったところ、さまざまですが、休日のつながりが細切れ的だったことを考えると「ますます」でしょうか。もっとも多かった日は、5月4日の420人でした。ちなみに、昨年は5連休中日の3日に524人を記録しています。

職員は連日化石工房でレプリカづくりの対応に追われました。作業の説明のあい間や、石膏が固まるまでの時間を利用して、化石への興味や来館の目的、お住まいのまちなどを伺うことにしています。本州からの旅行で、【足寄に2泊して博物館・オンネトーを見て帰る】{足寄の次に忠類ナウマン象記念館に寄る計画だ}《江ノ島や横浜八景島の水族館でイルカを見た。足寄でクジラの化石や骨格をみたいへん役立った》などのお話しが印象的でした。

また、帯広から何度か来館した方は、「案内看板が新しくできてよくなった。初めての人も入りやすいだろう」との感想。開発局の許可を得て、積雪期までの仮設案内板を国道からの入口に設置しました。



国道242号からの進入路付近

2005あしよろ化石教室 募集中

野外に出て化石を採集し地層を観察して自然の成り立ちを実感しませんか。ご家族のレクリエーションにもご利用ください。下の日程でおこないます。

参加は事前に「参加登録」が必要です。博物館にご連絡ください。

- | | | | |
|-----|----|----------|-----------|
| 第1回 | 6月 | 12日(日曜日) | 足寄町茂螺湾・螺湾 |
| 第2回 | 6月 | 19日(日曜日) | |
| 第3回 | 7月 | 10日(日曜日) | 白糠町右股 |
| 第4回 | 7月 | 24日(日曜日) | |

休館日 || 5月24日、31日 6月7日、14日、21日、28日 7月5日、12日、19日

博物館の動き 5月・6月(館の行事や職員の動き、来館団体の一部、など)

5月	6月
13日 帯広市アルパーク通り熟年会のみなさん	16日 弟子屈高校のみなさん
15日 探鳥会(里見が丘)	21日 高文連十勝支部美術部会のみなさん
16日 富良野市郷土研究会のみなさん	23日 上士幌中学校の皆さん
17日 クジラの解剖結果発表(米国オハイオ州水生四足動物の進化シンポジウム)	25日 帯広市児童会館行事のみなさん
25日 北見北斗高校定時制のみなさん	29日 鶴居村連合小学校のみなさん修学旅行
29日 ふるさと足寄花まつり(里見が丘)	30日 標茶町虹別小学校のみなさん修学旅行